



無所属クラブと市長懇談会 5月31日

5月31日、無所属クラブと柴橋市長との6月議会前の懇談会が開かれました。

柴橋市長からは「ふるさと岐阜市活躍人材バンク」の資料が提供され、この企画の趣旨説明と、他各施策の近況報告がされました。

服部議員からは本庁舎建設工事に関して鉄骨の錆対策を「メディコスを事例に出され」心配されて指摘等がされました。田中議員からは岐南町と岐阜市の人口動態に関して、地価の問題ともあわせ、福祉施策の遅れが人口減につながっているのでは？との指摘等がされました。また、最近連続する職員の不祥事に関して、27日発行された文書「岐阜市における内部統制の整備・運用状況について」質問されましたが、明確な答弁なく「後日お答えする」となりました。

ダウン症子育て手帳・トンコレラ対策・子育てステッカー **松原のりかず発言**

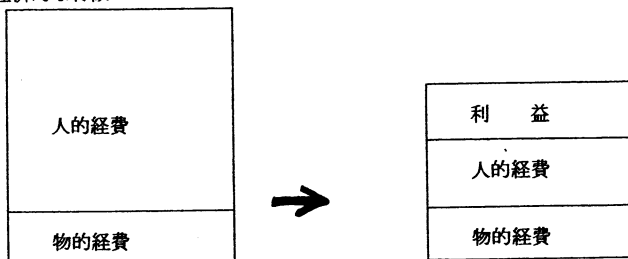
松原のりかずからは、ダウン症子育て手帳の市配付の取り組み問わせ、県への働きかけを要請しました。トンコレラ対策では「何千頭もの豚を殺処分しても病気を封じ込める事が出来ないが、このままでは、養豚業者が疲弊してしまうと思われる。豚にワクチンを投与する時期に来ているのではないかと 岐阜市から国に対し積極的にワクチン投与を行う事を発言・発信すべきではないか？」「豚肉の輸出入対策以前の問題で、日本に養豚業者がいなくなってしまう」と心配します。隣接市のステッカー「子育ては〇〇市」を貼った多くのトラックが岐阜市内を走っていますが、岐阜市の公用車には「子育ては岐阜市」のステッカーも無く、「子どもファースト」のステッカーも無い。名古屋ドームの前にやる事があるのでは？「学校給食無償化は岐阜市から」のステッカーを貼ってほしいものだ。

自治体アウトソーシングの経緯・あらまし・弊害から経済的特徴図

水道民営化を考えるシンポジウムの尾林弁護士の説明図

民営化して、経費の流れがどうなるのか？ 財源はどう流れるのか？ 講演説明資料でこの図が視覚的に理解しやすかったと思います。全体経費を削減し、私企業としての利益を出すためには

3 経済的な特徴



人的経費の削減が大きくなり、結果サービス低下も予想される。本来、物的経費として水道工事費に回るであろう経費が利益として配当される可能性もある。尾林弁護士はパリ市では、行なわれるべき工事費も利益として消費された問題点を指摘されていました。

岐阜市議会議員 松原のりかず 岐阜市沖ノ橋町1-21 でんわ 253-2500

水道民営化を考えるシンポジウム（6月1日・メディコス）

尾林 芳匡 弁護士 基調講演 から 新潟県議会の意見書（一部）紹介します

「政府は、水道施設に関する老朽管の更新や耐震化対策等を推進するために、公共施設等運営権を民間事業者に設定できるコンセッション方式の仕組みを導入する内容を含む、水道法の一部を改正する法律案に成立を目指している。しかし、ながら、コンセッション方式の導入は、災害発生時における応急体制や他の自治体への応援体制の整備等が民間事業者が可能か、民間事業者による水道施設の更新事業や事業運営をモニタリングする人材や技術者をどう確保するのか、などの重大な懸念があり、住民の福祉とかけ離れた施策である。また、必ずしも老朽管の更新や耐震化対策を推進する方策とならず、水道法の目的である公共の福祉を脅かす事態となりかねない。

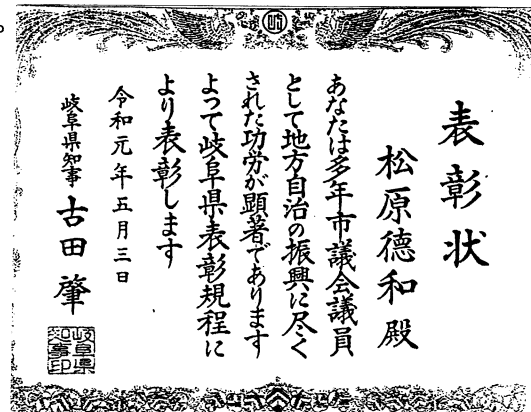
民営化されたマニラ市は水道料金が4～5倍に跳ね上がり、パリ市では料金高騰に加え不透明な経営実態が問題となるなど、世界の多くの自治体で再公営化が相次いでいる。水は、市民の生活や経済活動を支える重要なライフラインであり、国民の生命と生活に欠かせない水道事業は民営化になじまず、今般の水道法改正法案は、すべての人が安全、低廉で安定的に水を使用し、衛生的な生活を営む権利を破壊しかねない。・ ・水道法一部改正法案は廃案、水道基盤強化財源要求。」（2018年10月議会） 今回の水道法改正の本質を理解出来る内容となっています。

岐阜県各界功労者表彰で松原のりかず（市行政部門）受賞

5月28日、ぎふ清流文化プラザで開かれた県功労者表彰式で岐阜市議会から渡辺要元議員と松原のりかず の2人が表彰頂きました。

渡辺元議員とは、立候補が同期であり、また議長と副議長としてペアで任につかさせて頂いた経緯があります。当時の、県内議長会や失踪議員対応など思い出話を意見交換する時間を頂きました。

古田肇知事からは直接表彰状を頂き、お忙しい中をと御礼申し上げます。



松原のりかず
☎058-253-2500